

会 議 録

会議の名称	第11回 戸田市自治基本条例推進委員会
開催日時	令和元年11月7日(木) 午後7時00分～8時50分
開催場所	戸田市役所 1階東側休憩室
委員氏名	<p>◎□ 大山 宣治 ○□ 横山 誠 □ 柴田 忠雄</p> <p>□ 山田 博満 □ 細井 明美 □ 雨木 恵美</p> <p>□ 播 義也 ■ 市川 悦夫 ■ 市ヶ谷 裕乙</p> <p>■ 飯田 峻平 □ 伊藤 寛幸 □ 林 公子</p> <p>■ 石川 清明 □ 浅生 和英 □ 池上 裕康</p> <p>■ 向野 絢子 ■ 松下 啓一 ■ 宮崎 快</p> <p style="text-align: right;">(◎委員長 ○副委員長)</p> <p style="text-align: right;">(□出席 ■欠席)</p>
説明のために出席した者等	
事務局他	協働推進課 遠藤課長、石原主幹、秋元副主幹、元谷主任、水巻主任
議 題	<p>(1) 啓発活動について(報告)</p> <p>(2) 市長への答申内容について</p> <p>(3) 先進自治体への視察について</p> <p>(4) 自治基本条例フォーラム(仮称)について</p> <p>(5) その他</p>
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
議事録確定	<p>令和元年11月20日</p> <p style="text-align: center;">委員長 大山宣治</p>

(会議の経過) 11/7 第11回戸田市自治基本条例推進委員会 会議録

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 委員長挨拶</p> <p>3 議題 (1) 啓発活動について(報告) ・会議資料に基づき説明</p>
事務局	
委員長	質問等あるか。
委員	個人的な感想として、「条例名も内容も知っている」が「8.2%」 というのは高い数字であると感じる。その「条例名も内容も知っている」 人に対して、何で知ったのかは聞いているか。
委員	親子で回答してくれた人は、子どもが学校で習ったと言っていた。 その他に、以前に広報戸田市に掲載されているのを見て、内容は知っ ていたが、条例の名前は覚えていなかったという人もいた。
委員長	中には、「戸田市民憲章」と間違えている人もいた。 今回の活動は、啓発活動としてはインパクトがあったと思う。 自治基本条例フォーラムで参加者同士が熟議する場を設けること も大事だが、今回の啓発活動のように、イベントに来場した市民に直 接働きかけるような啓発活動も、同じように大事だと思う。 また、啓発活動の際に着用したタスキも、蛍光黄色で目立っていて 良かった。
委員	今回の啓発活動は、とても有意義なものであった。だからこそ、推 進委員会とは別に実施機関を設置するなどして、より活動しやすい環 境を作るべきである。
委員	今回の啓発品(トートエコバッグ)には色が入っていなかったが、 色を塗っても目立って良いと思う。委員がそれぞれ色を入れた啓発品

	<p>を持って活動するのも良いのではないか。</p>
委員	<p>今回は、啓発品を配布するだけでなく、配布した方一人ひとりに 条例やデザインの意味を伝えることができた。また、渡す際には、様々 な世代の方に渡せるよう心掛けた。 アンケートがシンプルな内容だったため、受け取った市民も回答し やすかったのではないかと感じている。</p>
委員	<p>来場者に声掛けをすると、ほとんどの人がアンケートに答えてくれ た。とても良いアンケート調査ができたのではないか。またこのよう に活動ができると良い。</p>
委員	<p>アンケートの設問で語尾が「〇〇を教えてください」となっている。 (例：あなたのお住まいを教えてください。) 他のアンケートでも同 様の表現を目にすることがあるが、本来は「あなたの住んでいる地域 はどこですか？」というような表現が適切なのではないか。</p>
委員	<p>表現として違和感があるかもしれないが、個人情報に関係もあり、 お願いする形の文章で作らざるを得ないのではないか。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり、設問内容に個人情報が含まれている部分があり、 回答を強制することができないため、行政で実施するアンケートでは 全般的に今回のような表現で実施している。</p>
委員長	<p>他に質問や意見等はないか。 なければ次の議題に移る。</p>
事務局	<p>(2) 市長への答申内容について ・会議資料に基づき説明</p>
委員長	<p>質問等あるか。</p>
委員	<p>諮問では、「〇〇の取組について検討してください。」という内容に なっているため、答申では、「検討した結果、〇〇だった。」というよ うに検討結果を述べる必要がある。</p>

	<p>しかしながら、答申案を見ると「〇〇を実施しました。」というように、実施したことしか書かれていない部分は何点かある。</p> <p>諮問に対する答申として形式を整える必要があると感じる。</p> <p>「諮問を受けて〇〇した。その結果、〇〇だった。戸田市では、〇〇する必要があると考える。」というような形式に統一した方が良い。</p> <p>「条例の見直し」については、自治基本条例第21条を基に答申する形と、自治基本条例推進委員会条例第2条第2項に基づき答申する形がある。「推進委員会の在り方」については、自治基本条例推進委員会条例第2条第2項「委員会は、前項各号に掲げる事項に関し市長に提案することができる。」に基づく提案という手法もできる。</p> <p>また、答申の回答期限について、諮問には明記されていない。そのため、推進委員会の任期である2年間で必ずしも答申しなくても、自治基本条例第21条に基づき、4年を超えない期間ごとに提出すれば良いとも考えられる。今回は該当しないが、任期に固執し過ぎることで、議論がし尽くされていないにも関わらず答申する形になってしまう場合もある。そういったことは諮問機関の答申として望ましくないため避けるべきである。</p>
事務局	<p>第二期の推進委員会においては、第一期でも議題となった「市民の定義」についても、何度も議論を重ね、推進委員会として方向性が定まっている。</p> <p>もし推進委員会としての方向性が定まっていないということであれば、無理に答申しなくても良いという認識で間違いはないか。</p>
委員	その通りである。
委員	内容に問題はなく、あくまで書き方の問題だと思う。諮問と答申で矛盾がないように表現を整える必要がある。
委員	<p>諮問に対する答申書として、齟齬があってはいけない。</p> <p>また、条例の見直しについては、少数意見が出た経緯も書くことで、検討の経緯も伝わる。</p>
委員	<p>一般的な条例の在り方や、条例と推進委員会との関係性については、これまでも議論を重ねてきたが、文面的な形にばかりこだわって、杓子定規には進めたくないという思いはこれまで大事にしてきた部</p>

	<p>分でもある。</p> <p>答申内容はしっかりと整えるべきだが、同じくらい大切なのは、これまでの取り組みやその経緯をどのように伝えられるかということである。答申書にまとめると短い文章になってしまうが、これまで様々な取り組みをしてきたので、それをしっかりと伝えられる内容とすべきである。</p>
委員	<p>推進委員会条例を制定する過程で、推進委員会に実効性を持たせたいという思いなど様々な議論がされていた。しかしながら、完成したものは、制定過程で議論された内容があまり反映されていなかった。</p> <p>推進委員会でどのようなことに取り組んでいきたいか、その実現には条例をどのような構成にすればよいのか、それを上手くつなげられれば良い。</p>
委員	<p>推進委員会条例については、何度も議論を重ねたが、法規上の観点から難しい部分が多く、現状の内容になっている。</p> <p>また、11月20日（水）に委員長、副委員長が答申をする際には、ぜひ市長に自治基本条例制定までの取り組みや自治基本条例推進委員会の取り組み、推進委員会の思いなどを伝えていただきたい。</p>
事務局	<p>推進委員会条例を制定する際の検討懇談会では、推進委員会の在り方などについて何度も議論が交わされている。これまでの諮問機関とは異なり、委員自身も主体的に活動していくものを作りたいという意見も出されていた。その思いのすべてを条例に反映できなかったが、今後も検討すべき内容であると考えている。</p> <p>また、前回の答申書提出の際は、委員長、副委員長と市長が条例や推進委員会の活動について意見交換をする時間を設けることができた。今回の答申書提出については、まだ詳細は確定していないが、これまでの取組内容や委員の思いを伝える時間が取れるよう調整をしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>他の自治体を調べてみると、推進委員会として具体的に活動している自治体は少ないように思う。</p> <p>神奈川県相模原市南区では、都市計画の分野でのまちづくりとも連携して取り組んでいるようである。</p>

委員	<p>個人的には、協働を進めていくうえで「ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）」がとても重要な役割を担っていると考えている。本市における市民活動の活性化の一翼を担っているTOMATOとどのように連携できるかが大事である。すでに協働やまちづくりを実行している人や団体は多数存在する。そのような人たちを後押しするのが自治基本条例である。我々委員は、もっとこの条例が活動している人たちのためになるよう、検証し改定等していくのが本来的な役割である。</p> <p>市民活動をしている人たちの声に耳を傾けて、実効性のあるものにしていければ良い。</p>
委員	<p>以前、総務部経営企画課で自治基本条例の制定を進めている過程で、同じ時期に当時の市民生活部コミュニティ推進課（現・協働推進課）で「協働七福神」（ボランティア・市民活動支援センター運営委員会作成）が掲げられていた。行政の中でも部局でそれぞれまちづくりの理念を掲げている印象を持っていたが、自治基本条例の担当部署が協働推進課に移り、まちづくりの理念を掲げる部署がまとめられたと感じていた。自治基本条例と、行政の他の活動、市民活動等が同じ理念のもと進めていけると良い。</p> <p>市内で行われている、協働や自治基本条例の理念につながるような活動を協働推進課でどこまで把握しているのか。</p>
事務局	<p>現状すべてを把握することは難しいと考えている。</p> <p>行政としては、すべての事業を、総務部経営企画課で所管している「総合振興計画」に基づき進めている。「総合振興計画」の施策方針に沿って実際に事業を進めていくのが市民生活部などの各部局である。協働推進課には、市民活動や地域活動に関する情報が多く入ってくるが、すべてではない。</p>
委員	<p>推進委員会は、ファシリテートできる人材が集まる場だと考えている。自治基本条例、自治基本条例推進委員会条例、ともに具体的な活動について明記されていないのは、戸田ならではの形式であり、我々委員もそれに合わせて勉強などをしていく必要がある。</p>
委員長	<p>答申内容については、これまで出た意見をもとに内容を更に整理し、完成させていきたい。</p>

	<p>他に質問や意見等はないか。 なければ次の議題に移る。</p>
事務局	<p>(3) 先進自治体への視察について ・会議資料に基づき説明</p>
委員長	<p>質問等あるか。</p>
委員	<p>神奈川県茅ヶ崎市には自治基本条例推進委員会のような附属機関は存在するか。また、その附属機関は実施機関なのか、諮問機関なのか、確認していただきたい。推進委員会の在り方を考えるうえで有意義な議論ができるように事前に詳細を調査する必要がある。 また、明確なテーマを設け、それを委員一人ひとりが意識して行くべきである。</p>
事務局	<p>自治基本条例推進委員会という名称での附属機関は存在していないようである。似た形式の附属機関が存在するのか、確認する。</p>
委員	<p>資料を見ると、視察としてとても意味のあるものだと感じている。前回の推進委員会資料にあった「市民討議会」は、主催者が、「大学・青年会議所・行政」の3者で構成されていることが非常に興味深い。この討議会で得たものをどのように市民にフィードバックしているのかなど、更に詳細を調べていただきたい。</p>
委員	<p>視察に対応していただくのは、自治基本条例の担当部署だけになるのか。</p>
事務局	<p>窓口としては、自治基本条例の担当部署である「行政総務課」であるが、こちらから自治基本条例に関連したもので「〇〇について話を聞きたい」という明確なものがあれば、担当部署の出席についても相談することはできる。なお、「市民討議会」の担当部署は、「市民自治推進課」である。</p>
委員	<p>今回は、自治基本条例策定までの経緯や、策定後の取り組み等について、をテーマにしても良い。</p>

	<p>個人的には、策定から現在までの流れ、どのように策定し、推進しているのか、今どんな問題に直面しているのか、どういう枠組みで動いているのか、といったことを聞きたい。</p>
事務局	<p>視察先での質問事項については、事前に各委員に確認し、それをまとめたうえで先方に伝えるつもりである。</p>
委員長	<p>神奈川県茅ヶ崎市を視察するというので、事務局でさらに詳細を調べていただくということで良いか。</p> <p>〈意義等なし〉</p>
委員長	<p>では、神奈川県茅ヶ崎市を視察することに決定する。 他に質問や意見等はないか。 なければ次の議題に移る。</p>
事務局	<p>(4) 自治基本条例フォーラム（仮称）について ・会議資料に基づき説明</p>
委員長	<p>質問等あるか。</p>
委員	<p>フォーラム形式での実施に賛成する。以前の資料を見ると、平成26年11月に「戸田市自治基本条例制定記念フォーラム」を実施している。当時のフォーラムでも興味深い意見が多く出ていた。そこからちょうど5年経過していることを考えると、これまでどのように推進してきたのか、当時と比べてどこまで市民に理解されているか、浸透しているかについて議論する場を設けても良い。時期的には今のタイミングが適しているのではないか。</p>
委員	<p>当時のフォーラムで参加者に対して自治基本条例の説明をしたが、条文が「です、ます調」なのがとても良い、という意見をいただいたことを覚えている。</p>
委員長	<p>詳細については12月以降の第三期推進委員会で進めていくことになると思うが、具体的なテーマを持って進めていければ良い。</p>

<p>委員</p>	<p>今回、イラスト入りのエコバッグを作って、委員が市民に条例やイラストの意味を説明しながら配布した。このような取り組みはとても素晴らしい。実際に活動をしている人が条例について市民に説明している姿に可能性を感じる。誰が、どうやって説明するのが大事である。</p> <p>出前講座だけではなく、様々なイベントに参加して啓発品を配布することも啓発活動としては十分に成り立つ。</p> <p>もしフォーラムを実施するのであれば、条例制定に関わった人や実際にまちづくりに携わっている人など、来るべき人達、来ていただきたい人達に参加していただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>フォーラムを実施する際には、来ていただきたい人達、目的を明確にする必要がある。</p>
<p>委員</p>	<p>個人的には、第5次総合振興計画の策定に関わった協働会議の委員に参加していただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>第5次総合振興計画の策定に関わった協働会議の委員は、まちづくりについて考える経験をしている分、意識も高いと思う。新しい担い手を発掘することも大切だが、すでに高い意識を持つ人たちも同じように大切である。自治基本条例の制定に関わった人達に声をかけても良い。この人達はファシリテーターにもなりうる存在である。</p>
<p>委員</p>	<p>これまで出た意見を聞くと、まちづくりに関わっていない一般市民はなかなか興味を持ってないのではないか。</p>
<p>委員</p>	<p>まずは、高い意識を持ってまちづくりに興味を持っている人から広めていくことも一つの方法であると思う。実際に活動している人は、もっとこうしてほしい、という思いがあるはずである。自治基本条例はそういう人たちの力になる存在である。</p>
<p>事務局</p>	<p>何かテーマを設けて、一般市民だけではなく、条例制定に関わった人たちにも声をかける。そのような人たちに参加していただくことで何か生まれるものがあるのではないか。いずれにしても、参加者募集には工夫が必要である。</p>

委員	<p>制定から5年を一つの区切りとして、制定時に実施したものを当時関わった人たちを呼んでもう一度やってみるのも良い。</p> <p>戸田市内全域に向けての取り組みについては、第三期推進委員会において時間をかけて審議していければ良いのではないかと。</p>
委員長	<p>松下委員は、人が集まって熟議する場を設けることができればそれだけで十分意義があると話していた。熟議をした人がその経験を各々地域に持ち帰り、熟議した内容を実践してもらえれば良いのではないかと。</p>
委員	<p>第5次総合振興計画協働会議では様々な興味深い意見が出ていた。話を聞いて、福祉関係など、協働の場が必要な分野もあると感じた。それぞれの分野で協議の場があると良い、という意見も出ていた。総合振興計画協働会議や若者会議といった、行政としてすでに動いているものとうまく連携して進められると良い。</p>
委員	<p>私は委員の一人として、第5次総合振興計画協働会議に出席したが、これまで知らなかったことをたくさん知ることができた。会議がすべて終わった後に、次につながるものがあれば良い、という意見も出ていた。</p>
委員	<p>先日の台風第19号発生に伴い開設された避難所で避難者の受入対応をしていたが、その場だけではなく、その後の対応も含め協働や地域コミュニティの大切さを実感した。</p> <p>業務で床上浸水の被害にあわれた方の対応をしているが、行政は申請主義のため、申請自体を知らない人には対応ができないのが現状である。そんな中で、地域のネットワークでそういった情報が広がっていけばとても良い。</p> <p>フォーラムを実施するのであれば、より多くの人にとって身近なテーマを設定し、それぞれの考えを共有できる場になれば良い。</p> <p>また、総合振興計画にもフィードバックできるような形ができれば良い。</p>
委員	<p>災害ゴミについて、LINEの情報で処理の方法を知り、対応した人もいたと聞いた。そういったつながり、情報共有は大切だと思う。</p>

委員長	<p>フォーラムについては、12月以降の第三期推進委員会でさらに詳細を審議できれば良い。 他に質問や意見等はないか。 なければ次の議題に移る。</p> <p>(5) その他 特になし</p> <p>4 事務連絡</p> <p>5 閉会</p>
-----	---